

第4講

On の定義

A on B の形で、A が B に接触をし、A から B に作用力が働くことを示す前置詞である。そこから A の B に対する『依拠・依存』の関係を示す。

また、『時の接触』から発展し、on+抽象名詞で『進行中の状態』を表す。

第4講 On の定義と用法

§ 7 接触・付着 SVM

- (A) She laid the carpet () the floor.
 (B) I discovered blood stains () his coat.

<類題研究>

- Jane is sitting () the sofa.
- I threw myself () the grass to rest ().
- She has a ring () her finger.
- The boat has been floating () the water for a week.
- New York is situated () the Hudson River.

§ 8 根拠・基盤 SV ()

- (A) He lay () his back.
 (B) () principle I don't smoke.

<類題研究>

- The earth turns () its axis.
- They fell () their knees to thank God.
- I will act () your advice.
- I cannot accept the offer () such terms.
- I will do it () condition that I shall be paid.

<Drill> 適当な前置詞を補い意味を考えよ。

- He was lying () his back () the lawn.
- Direct taxation is usually based () income.
- I congratulate you () passing the examination.

§ 7 接触・付着

- (A) 【接触】彼女は、床にカーペットを敷いた。
 (B) 【付着】私は、血こんが彼の上着についているのを見つけた。
 <ポイント> ① A on B の形で、A、B ともに具体名詞の場合には、A と B が接点をもつことを示す。
 ② A on B の形では A が B に接触をし、A から B に力が加わり、B が A を支えている関係が前提にある。反対は A under B で B から A に力が加わることを示す。

<類題研究>

- ジェインはそのソファに腰掛けている。
 cf. She was sitting in the armchair.
- 私は休むことのできる芝生に身を投げ出した。
 ← I threw myself on the grass which I could (=was to) rest on.
- 彼女は指輪をはめている。
 cf. I looked at her finger with a ring.
- そのボートは、一週間ずっと水面に浮かんでいる。
 cf. Many fishes were swimming in the water.
 The wrecked ship was lying under the water.
- ニューヨークは、ハドソン川の両岸に広がっている。
 cf. The Hudson River runs through New York.

§ 8 根拠・基盤

- (A) 【基盤】彼は、仰向けになって寝ていた。
 (B) 【根拠】主義として、私はタバコは吸いません。
 <ポイント> ① A on B の形で、on B が A の動作に対する『基盤』を表す副詞句を作り、SV () の構文をとる。
 ② on と『根拠』を表す抽象名詞が結び付き、副詞句を形成する。

<類題研究>

- 地球は、軸を中心に回っている。
- 彼らは、膝まずいて神に感謝した。
- 私は、あなたの助言に基づいて行動します。
 cf. act on ~ = work on ~ 「～に作用する」
- そのような条件では、申し出は受け入れられません。
 → term①言葉・用語・観点(in) ②期間・年季(for) ③間柄・関係(on) ④条件・条件金額(on)
- 金を支払われるという条件で、それをやりましょう。
 cf. I will do it if I am paid.

<Drill>

- 彼は芝生の上で仰向けに寝ていた。
 on/ on cf. with his back on the lawn, on one's face 「うつ伏せになって」
- 直接税は、通常、収入に基づいている。
 → base ~ on ~ ⇒ be based on ~ → on a basis of ~
- 試験に合格しておめでとう。
 → congratulate ~ on ~
 cf. on the ground that S+V → on (the ground of) ~ing

§ 11 進行中状態 SVC/SVOC

- (A) The workers of the company were () strike.
 (B) He was () the verge of ruin.

<類題研究>

1. A policeman must not smoke while he is () duty.
2. Mail this letter () your way to office, please.
3. He went to Osaka () business.
4. The building was () fire.

§ 12 時の接触 SV ()

- (A) He will come back () the morning of the 15th.
 (B) () his return to Tokyo, he started his new business.

- N.B. ① As soon as..., Just when ...
 ② The moment ..., The instant ..., The minute ...,
 ③ Hardly ... when, Scarcely ... before, No sooner ... than
 ④ Immediately ..., Instantly ..., Directly ...

<類題研究>

1. I was born () the 28th of February in 1943.
2. I will go there () Sunday next.
3. It happened () the evening of the 13th.
4. We walked together in the wood () a fine morning.
5. () reaching the station, he rang me up.
6. () seeing me, he walked up to me smiling.

<Drill> 適当な前置詞を補い意味を考えよ。

1. He goes () duty at 8 a.m. and comes () at 5 p.m.
2. He was watching a bird () the wing.
3. They started () an expedition to the North Pole.
4. If it were fine today, I could go () an excursion.
5. Mother sent me () an errand to the market.

§ 11 進行中状態

- (A) 【着手状態】 その会社の労働者たちは、ストライキ中であつた。
 (B) 【進行状態】 彼は、破滅寸前であつた。
 <ポイント> ① on+『義務行為・行事行為』を表す抽象名詞の形で用いられる on は『着手状態』を示す形容詞句を作る。
 ② on+抽象名詞が『存在状態動詞』と結びついて、補語句又は補語的要素を強くもって用いられるときには、『進行状態』を表す。

<類題研究>

1. 警察官は、勤務中には喫煙をしてはならないことになっている。
 cf. on duty → off duty / take a day off (一日休暇をとる)
2. どうか、通勤途中でこの手紙を投かんして下さい。
 ← on the way to 抽象名詞 (office = work)
3. 彼は大阪に行って仕事をしています。
4. その建物は、炎上中だつた。
 → catch fire cf. be in flames

§ 12 時の接触

- (A) 【日付】 彼は、15日の朝になったら戻って来ます。
 (B) 【時の接触】 彼は、東京に戻るとすぐに新しい仕事を始めた。
 <ポイント> ① 時(曜日)を表す名詞が、形容詞及び形容詞句の限定を受け、話し手の気持ちの切迫感を示す場合には on が用いられる。
 ② on+派生名詞及び動名詞は、as soon as S+V, just when S+V の副詞節に代わる表現を作る。

<類題研究>

1. 1943年2月28日に私は生まれました。
2. 今度の土曜になったら、そこへ行くつもりです。
3. 13日の夕方になってその事件は起きた。
 cf. It happened in the evening.
4. 朝晴れて、私達は森を一緒に歩いた。
 → when it started to be fine in the morning
5. 駅につくとすぐに彼は私に電話をよこした。
 = As soon as he reached the station, he rang me up.
6. 私の姿が目に入るとすぐに、彼は笑いながら近づいてきた。
 = No sooner had he seen me than he walked up to me smiling.

<Drill>

1. 彼は、午前8時に勤務につき、午後5時に勤務が終わる。
 on/off be on (duty) → be off (duty)
2. 彼は、一羽の鳥が飛んでいるのを見守っていた。
 on the wing = flying
3. 彼らは北極行きの遠征に出かけた。
4. もし今日天気良ければ、遠足に出かけられるのに。
 cf. go on (義務・行事行為), go to (帰着場所), go for (目的行為)
5. 母に言われて、私は市場へお使いに行った。
 cf. go for shopping

講義のまとめ

《On の定義》

on + 具体名詞は接触点, on + 抽象名詞は進行中の状態が原則。

- ① SVM <接触・付着>
- ② SVO <作用力・影響力><執着・題目><依拠・依存>
- ③ SVC/SVOC <進行中状態>
- ④ SV() <支柱・基盤・根拠><時の接触>

《On との結びつきでねられる英単語》

- ① 自動詞+on の形で「接触」の意味をもって熟語問題に出される動詞
burst, chance, come, fall, flash, hit
- ② 自動詞+on の形で「依存」の意味をもって空所補充に出される動詞
count, depend, rely, fall back, feed, live, rest
- ③ 自動詞+on の形で「執着」の意味をもって解釈問題に出される動詞
agree, attend, dwell, insist, look, meditate, reflect, *wait
- ④ 自動詞+on の形で「作用力」の意味をもって解釈問題に出される動詞
act, tell, work
cf. 影響力名詞 : energy, influence, effect, emphasis, attack
- ⑤ 他動詞 A on B の形で用いられる動詞
impress, congratulate, *blame (事柄) on (人), bestow

- ⑥ その他, on + 名詞の形の副詞句で問われる慣用表現の名詞
 - i) pension, rice, income, salary (依存の on)
 - ii) term, condition, advice, principle, ground (基盤の on)
 - iii) errand, expedition, excursion, visit, hike (着手の on)
 - iv) business, display, duty, strike, sale, exposition (進行中の on)
 - v) the air, the increase, the radio, the rise, the move, the way, the wing (進行中の on)
 - vi) the brink, the edge, the lip, the precipice, the verge (進行中の on)
cf. on the point of ~